

# 平成24年度事業計画書

## 1 基本方針

我が国の人口はピークを過ぎ、減少の時代へと移り変わり、世界に先駆けて超高齢化社会が進行しています。また、それに伴う生産年齢人口の減少と高齢化率の上昇は現役世代の減少を意味し、その影響が危惧されています。

こうしたなかで、近年は「無縁社会」と言われるように、地縁、血縁、社縁などの相互扶助システムが崩壊し、高齢者の孤立化が問題とされています。そうした高齢者を社会から孤立させずに、組織の一員として取り込む意味においても、仲間同士の就業を通じた社会参加や生きがい作りの場として、センターの果たす役割はますます重要になります。

このような状況の下、昨年12月に神奈川県公益認定等審議会において、当センターを公益社団法人として認定の基準に適合するのが相当であるとの答申がなされ、これにより本年4月に公益社団法人への移行登記を行います。このことは、昭和54年の生きがい事業団発足以降、昭和63年の社団法人化に次ぐ大きな転換点となります。移行後は公益社団法人として、今まで以上に社会的な信用が得られるとともに、期待される役割もより重要になることから、法人としての公益性格をより明確にするためにも、有償ボランティア活動による社会貢献、地区班独自の企画による事業普及啓発活動などを通し、センターを積極的にPRし、地域の信頼にこたえられるよう、会員並びに役職員が一体となり事業運営を推進することで、不特定多数の利益の寄与を目指します。

また、昨年12月までの事業受託状況は、対前年同月比での契約額は4.8%増となっており、就業率についても5.6%増と3年連続の契約額の減少から脱却できる兆しが見えてきました。平成24年度についても引き続き、契約額並びに就業率の向上に取り組み、より多くの会員に就業機会の提供を行うとともに、自主財源の確保を図ります。

なお、予算については国及び市補助金の削減への対応が求められます。このことをセンターの自主性、自立性を高める機会と捉え、人件費を含め削減できるところは削減し、適正な運営に不可欠な部分は増額を図り、自立した組織としての運営を進めます。

会員数については相模原市の高齢化率は上昇をたどっているにも関わらず、センターの会員数はここ数年、ほぼ横ばいの状況となっています。新たな会員の入会は、受託事業の確保においても、センターの社会的使命においても不可欠になりますので、個々の会員がセンターの構成員としてセンターの責務を認識し、会員の拡大に努めるよう啓発活動を実施します。

安全就業対策としては各地区の安全就業対策員による就業現場巡回を実施し、また就業途上の事故が増加傾向にあることから、会報などを通じ全会員に注意喚起を促します。

## 2 事業実施計画

### (1) 臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務（雇用によるものを除く。）に係る就業を希望する高齢者のための、就業機会の確保及び提供する事業

ア 地域に根ざした事業普及啓発活動を展開するため、地区班が主体的に活動することにより、地域住民にセンターの活動内容を周知します。

また、季節ごとに受託可能な職種のチラシを地区ごとに作成し、年間を通じた事業普及を行い、受注の拡大を図ります。

イ 一般家庭などからの受注を獲得するため、一般家庭などに就業した際、会員自らが発注先及び近隣にリーフレット等を配布します。

ウ 教員等の経験を持つ会員の能力を活用するため、夏休み期間中、小学生を対象とした「おさらい教室」を実施し、多種多様な就業職種の拡大を図ります。

エ 臨時的かつ短期的な就業機会を拡大するため、日常の営繕修理などの受注拡大を念頭に、就業希望会員の連携及び養成を図ります。

### (2) 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者のための、無料職業紹介事業又は一般労働者派遣事業

ア 県シ連及び拠点センターとの連携を深めながら、請負または委任業務と一般労働者派遣事業とのすみ分けを行いながら適正な就業に努めます。

また、発注者からの理解を得ながら、派遣事業の事務手数料の改定を行います。

イ 全シ協主催の無料職業紹介事業従事者講習会に職員を派遣し、事業の推進体制の強化を図ります。

### (3) 高齢者に対し、就業等に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行う業務

ア 会員技能習得講習会

講習会名	内 容	時 期
接客・接遇	お客様から親しまれる応対等	6月
草刈機械操作	草刈機械操作及び安全就業	7月
植木の手入れ（新人）	植木の剪定及び安全就業	7月・10月
植木の手入れ（下職）	植木の剪定及び安全就業	10月

イ 就業会員養成研修（ワークショップ）

接客・接遇、植木、除草

### (4) 高齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業等を通じて、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進を図るために必要な事業

ア 健康で働く意欲のある高齢会員が就業を通して、会員同士のふれあい及び地域社会との結びつきを得ながら、自らの生きがいの充実を図るため、有償ボランティア

ィア的な就業機会の拡大を図ります。

イ 公共、準公共だけでなく民間企業においても発注者にセンターの趣旨への理解を促し、ワークシェアリングを推進します。

ウ 毎月2回実施する入会説明会にて、DVDを活用しセンター事業の趣旨等を理解していただくとともに、共働・共助での就業を促すとともに、地区班の役割等を理解していただき、会員主体の運営を推進します。

エ 地区役員及び担当職員が連携し、未就業会員の実情把握に努めるとともに、年齢や体力等に応じた会員の就業希望職種の把握に努めます。

オ 3ブロックで野菜を栽培し、事業普及啓発活動用のPR物品として活用し、センターの認知度を深めるとともに、新たな会員や受注の拡大に努めます。

カ センターのホームページや広報誌等を活用し、新入会員及び受託事業の増加に努めます。

キ 38地区班が主体となり、地域の状況にあわせた事業普及啓発活動を実施し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を図ります。

ク 高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図るため、全会員に対し会員入会紹介カードを配布し、新たな会員の拡大を目指します。

#### **(5) 前4号に掲げるもののほか、高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業**

ア センターの趣旨を理解していただくため、センター施設を市内の高齢者に開放し、地域に根ざした活動を展開します。

##### 高齢者能力活用施設講習会

講習会名	内 容	時 期
ビーズ編み教室	簡単に作れるアクセサリー	6月
水彩画教室	絵手紙にかける水彩画	6月
ヘルシー料理教室	手軽にできるヘルシーメニュー	10月
健康麻雀教室	健康目的の初心者向き麻雀	10月
初心者カメラ教室	カメラアングル等操作	10月
初心者パソコン教室	楽しく覚えるパソコン	11月
布ぞうり編み教室	布で作るぞうり編み	11月
初心者水墨画教室	水墨画の基本を学ぶ	11月
コサージュ作り教室	新聞を利用したコサージュ作り	12月

イ 役職員等が新規企業等を訪問し、登録会員の状況を説明し、会員の豊かな経験や能力が発揮できる場を確保に努めます。

#### **(6) その他目的を達成するために必要な事業**

ア 中長期における会員の就業機会及び受注機会の拡大を図りながら、経営改善、安定した財政基盤の確立を目指すため、第2次中長期計画の見直しを行います。

イ ブロック単位の活動を円滑に推進するため、定期的に会議を開催し、役員と地

区長が積極的に意見交換を行います。

### 3 事業目標

(1) 会 員 数	3, 7 0 0 人
(2) 受 託 件 数	2 4, 0 0 0 件
(3) 就 業 延 人 員	3 0 0, 0 0 0 人
(4) 就 業 率	8 6 %
(5) 契 約 額	1 0 億 6 千 万 円

#### ◎公益社団法人移行に伴う事業計画及び収支予算書

定款

第 4 3 条 センターの事業計画及び収支予算等（収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類）は、毎事業年度の開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経て、総会に報告するものとする。これを変更する場合も同様とする。

よって、平成 2 4 年 5 月の総会にて、公益社団法人相模原市シルバー人材センターの事業計画及び収支予算書等として、再度、総会で報告いたします。